

岩村透 いはら透 美術評論家。明治二年一月二十五日東京生れ。大正六

年八月十七日歿（一八七〇—一九二七）。號華洗生、觀堂、迂遷生、鑑泉、岩

村半銭。官僚岩村高校の長男。慶應義塾、京洋英和學校中退。明治一

十一年アメリカ留學、一十四年パリに轉じ翌年歸國。一十六年明治美

術會評議員、青山學院教授。一十九年白馬會創立（加林）、森鷗外等

と雜誌「美術評論」を創刊。二十四年東京美術學校教授、大正二年國

民美術協會創り理事。『岩村透男追憶集』（一贈進編、昭和八年八月

十七日岩村博刊）がある。

著書『洋畫手引草』（森林太郎採桂一郎同選、明治二十一年十一月四日大村

西崖編輯、畫報社）、『巴里之美術學生一外ニ美術談』（大村西崖、華洗生各、

明治二十六年一月）『一白畫報社』、『藝苑雜稿』（明治二十九年五

月一白畫報社）、『西洋美術史要・第五編—伊太利亞建築之部』（編、

明治四十四年二月十五白畫報社）、『藝苑雜稿・第三集』（大正二年

十月、二十七日畫報社）、『美術と社會』（大正四年十一月、二十一日、趣

味叢書發行所、味之友社、『趣味叢書』（味之友社）、『西洋美術史要・第一編—伊太利亞繪

畫』（編、昭和四十五年十一月、二十五日鈴木孝編輯）等。